

令和3年度瓦のふるさと公園指定管理者モニタリング結果

施設名	瓦のふるさと公園
所在地	愛媛県今治市菊間町浜3067番地
指定管理者	<p>名称 菊間町窯業協同組合</p> <p>代表者 代表理事 越智浩一</p> <p>住所 愛媛県今治市菊間町浜228-4</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課(問合せ先)	<p>建設部 公園緑地課</p> <p>TEL : 0898-36-1563</p> <p>E-mail : kouen@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	B	施設の設置目的や事業内容に理解を深め適切な管理運営に努めました。	B	施設の設置目的をよく理解して各事業を実施できている。また、施設の管理運営も設置目的に沿った運営が行われている。
利用状況	C	観覧者・体験者数ともに減少となりました。3月の遠足シーズンの団体のキャンセルが一番の要因ですが、年間を通しての集客の催しがマンネリ化しているのがあると思います。次年度以降、新しい企画を練り実行したいと考えています。	B	前年度と比較すると、新型コロナウイルスの影響により、かわら館と実習館の利用者数合計は緩やかに減少しましたが、自主事業参加者数は若干増加した。今後は、利用者の増加につながるようなイベントの開催や魅力ある体験・展示の企画・実施に期待する。
事業収支	B	適正に会計処理が行われたと思います。今後も無駄を省くとともに、自主事業の拡充や定期的な展示品の入替えを実施して利用者を増やすことにより収益を伸ばして行きたいと思っています。	B	利用料金収入及びその他の収入ともに減少したが、経費削減が行われ、適切な執行となっている。利用者の増加による利用料金収入及び自主事業の拡充による収入の増加を期待したい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
管理運営体制	B	<p>効率的な人員配置で、運営出来たと思えますが、今後とも組織内研修や派遣研修を充実させて かわら館及び公園運営に取り組んで行きたいと思えます。</p>	B	<p>年間を通じ仕様書で定めた職員体制により、適正な管理運営体制が確保できている。令和3年度に館長が公園管理運営士の資格を新規取得し、施設及び公園の管理運営業務の充実が図られた。</p>
管理運営業務	B	<p>仕様書に定めた通り 各項目において適切に実施されたと思えます。なかでも植栽管理は 管理地及びその周辺を含め草刈り・剪定を業務基準以上に行いました。清掃においても管理地外の水路清掃など積極的に実施しました。</p>	B	<p>管理運営業務全般に渡り、仕様書に基づき適切に実施されている。特にバラ園(4箇所100種類)の管理は基準以上の取り組みができています。植栽管理は管理地だけでなくその周辺も基準以上に行われた。また、管理地以外の水路清掃などが積極的に実施された。</p>
利用業務	B	<p>利用調整・受付業務は適切に実施されたと思えます。実施計画に及ばない項目もありましたが、ほぼ計画通りに実施できたと思えます。しかしながら企画のマンネリ化で集客に結びつきませんでした。次年度は、イベントや体験・展示に新しい企画を考え実施して利用者の増加を図りたいと思えます。</p>	B	<p>利用者への対応は適切に行われている。前年度と比較すると、新型コロナウイルスの影響により、かわら館と実習館の利用者数合計は緩やかに減少したが、自主事業参加者数は大規模イベントが開催できなかったものの、若干増加した。引き続き、的確な情報提供による効果的なPR活動を実施し、利用者を増やす取り組みを行っていただきたい。</p>
その他業務	B	<p>お客様のご要望に応じて休館日や時間外にも可能な限りの対応を行っております。また施設内での事故や災害には、常に注意を払い有事の際は、迅速に対応できるように心掛けています。</p>	B	<p>その他業務は、適正に業務が遂行されている。事故防止のための安全管理にも配慮している。今年度、設置年数が長くなっている遊具や外灯の日常点検時間を長くとり念入りに点検するよう運用の改善を行った。</p>
修繕業務	B	<p>当初の計画通りの修繕とはなっていませんが、利用者の安全・安心・利便性を最優先に修繕業務を実施できたと思えます。次年度は、前年度より計画にある修繕を早期に実施したいと思えます。</p>	B	<p>利用者の利便性を考え、展望時計台の眺望などの表示案内板の交換や空調機器の修繕など比較的費用のかかる修繕を実施した。利用者の安全、安心を第一に内容を検討し、適切な修繕を実施したことは評価できる。施設の老朽化が進んでいるため、先を見据えた早目の対応を行うことにより、施設の安全性を確保していただきたい。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
備品管理業務	B	適正に備品購入ができたと思います。管理においては備品台帳に沿って適切に管理、整備されていると思います。	B	備品管理については適正に行われている。新規備品の購入についても、優先順位をつけ積極的に購入したことは評価できる。
行政財産の目的外使用許可 手続業務	B	施設の設置目的の範囲内において適切な業務が行われたと思います。	B	自動販売機について適正な対応ができています。
自主事業	B	ほぼ計画通り実施をする事が出来ましたが、マンネリ化もあり集客や増収には結びついておりません。次年度は新しい企画を考え実施したいと思います。	B	ロビー展・かわら館バラ愛好会活動・バラ苗販売・フォトコンテスト作品展など計画に沿った実施ができ、自主事業参加者は前年度より増加している。今後は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえた「イベント、施設の取扱い」を遵守しながら、イベントの開催を計画的に行っていただきたい。また、公園利用者の増加のため、積極的に新しい事業に取り組んでいただきたい。
地域団体との連携	B	職場体験の受け入れや学校や施設等のイベントには粘土細工の出張体験などで積極的に参加をして連携・交流を図っております。また地域活動にも可能な限り参加し交流を深めております。	B	様々な地域団体との連携によって、社会的貢献事業への積極的な取り組みができ、円滑な施設の管理運営が図れた。今後は新たな団体との協働も進めて、更なる情報交換や地域交流を深めていくことを期待したい。
利用者アンケート	C	本年度は新型コロナウイルス感染症による自粛により大規模な自主事業等が計画通り行えずアンケートの計画通りの回収ができませんでした。次年度は回収方法の改善を考えて実施したいと思います。	B	アンケート内容は問題なく、利用者からのアンケート結果も、概ね満足であるとの回答が多数を占めている。アンケート結果の分析は適切にできており、迅速に課題を分析し、可能なところから対応策を講じ改善されている。アンケート回答者数を増やすため、ワークショップ開催時に参加者へアンケートを依頼するなど、具体的な取り組みを検討していただきたい。そして、1人でも多くの利用者アンケート結果を分析したうえで、利用者のサービス向上に努めていただきたい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
事故・苦情	B	バラ園の消毒に関してご意見をいただきました。対策として事前の告知看板の設置や時間帯を早めるなどを実施しました。また公園の危険個所には注意喚起の看板を各所に増設するとともに公園巡回の回数を増やして事故防止に努めました。今後も事故・苦情には迅速に対応が出来るように努めます。	B	利用者の安全、安心を第一に内容を検討し、迅速で適切な対応がとれている。引き続き、公園の巡回や利用者からの意見・要望により修繕箇所をいち早く把握し、事故を未然に防止するための維持管理体制の構築に努めていただきたい。
指定管理者の経営状態	/		適正である	
総合コメント(市)				
<p>指定管理者は、施設の特性を踏まえた管理運営に努めており、指定管理業務の履行が適切に実施されていると認められる。特にバラ園(4箇所100種類)の植栽管理は充実しており、来園者の増加につながっている。また、展望時計台の眺望などの表示案内板の交換や空調機器の修繕などが実施され、利用者への安全性・利便性を考慮した取り組みが行われている。しかし、前年度と比較すると、自主事業参加者数は若干増加したが、新型コロナウイルスの影響により、かわら館と実習館の利用者数合計は緩やかに減少した。今後は、イベントや体験・展示に新しい企画を取り入れるなどして、リピーターの増加や新規利用者の獲得が見込めるような取り組みを行っていただきたい。</p>				
総合評価				
B	<p>施設利用状況については、新型コロナウイルス感染が続く中で、実施計画より利用者数が落ち込んではいないものの、前年度より増加している部分も多く、努力が見られる。新型コロナウイルスの感染対策に留意しながら施設を管理運営していくことは、大変な苦労があったと思われる。</p> <p>また、管理運営業務については、特にバラ・桜・梅等の栽培管理が良くなされており、四季を通して多種の樹木等の美しい公園管理ができています。</p> <p>全体として、施設の管理、事業の実施等は適切に行われている。利用者アンケートにおいても、この施設の運営状況を感じとることができる。</p> <p>今後は、他の団体とのコラボ等魅力あるイベントを企画したり、施設の新しいPR方法を検討したりして、公園の利用者増加に繋がる取り組みを行っていただきたい。</p>			